



校訓
自律・敬愛・剛健

可愛山同窓会報

発行編集

鹿児島県立川内高等学校

可愛山同窓会

所在地 〒895-0061

鹿児島県薩摩川内市御陵下町 6-3

同窓会事務局

電話 (0996) 20-2031

学 校

電話 (0996) 23-7274



令和6年3月卒業 (76期) 248名 中庭にて

友情の絆は永遠に

可愛山同窓会の皆様におかれましては、ますますご清祥にてご活躍のことと存じます。

昨年は、五月にコロナが五類となり各地の同窓会が開催され、私も参加させていただき楽しませてもらいました。今年度も、すでにご案内が来ているところもありますので、参加させていただきたいと思っております。

昨年の本部同窓会総会ですが、川内駅の東口近くに令和三年に開所しました薩摩川内市の施設でありますSSプラザさんで盛大に開催することが出来ました。今年も、会場は変わりますが八月に予定しておりますので、ご都合がございましたら参加して頂きますようお願い申し上げます。

また、恒例の川内高校OBゴルフ大会ですが、今年も四月二十九日に薩摩川内市のグリーンヒルカントリークラブで百七十名の参加で開催されました。朝方の雨で参加を止める方々もいらっしゃいましたが、同期の方々でラウンドされて楽しまれているようでした。

三月にありました第七十六回卒業式では二百四十八名が卒業され、コロナ前の形で式が行われ参列された皆さんも喜んでおられました。恒例の卒業五十年・二十五年の方々の卒業式参列には卒業五十名の四十名が出席され久しぶりの母校の卒業式を満喫されているようでした。

そうした中で、今年の創立記念日講



可愛山同窓会の皆様へ

可愛山同窓会会長

下 麥

昭一

(川高30期)

演会は四月十八日に体育館で行われ、講師は京セラ株式会社取締役 執行役員常務の触浩(ふれひろ)様(川高31期)にお願いし、テーマは「能力は未来進行形」で、生徒たちは最初会社の紹介などで少し興味なさそうでしたが、途中からは体験の中で苦労話など、これから人生の中で体現することであろう生の声を聞きながら話に引き寄せられているように出ている。これから先、生徒たちも社会に出ていくわけですが、いつか今日の話が少しでも生きて行く中での参考になればと思うところでした。

さて、故郷では昨年、燃ゆる感動鹿児島国体が開催され、十月七日から十月十六日まで五つの競技が開催され大いに盛り上がりしました。また、今年度に薩摩川内市で行われる祭りなどの行事は、薩摩川内市誕生二十年の冠がついて、例年よりスケールアップして行われるようですので、ご都合がつけば開催に合わせて帰郷されてみてはどうでしょうか。

可愛山同窓会は、本部以外に東京・関西・福岡・熊本・宮崎・阿久根・鹿児島・鹿児島県庁の八か所で運営しております。この同窓会報や卒業式の名簿巻末に、各支部の所在地・連絡先・組織などを紹介してあります。皆様、最寄りの同窓会にぜひ参加して『楽しく集う誇り高き同窓会』を楽しんでいただきたいと思います。今後とも皆様のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い致します。



川内高校赴任にあたり

鹿児島県立川内高等学校 校長
新留 克郎

可愛山同窓会員の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。また、皆様には日頃から多大なる御支援・御協力を賜り、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

さて、私は、令和六年度の人事異動により、県教育庁高校教育課から川内高等学校校長として赴任いたしました。五年ぶりの学校復帰となります。川内高校への異動が決まった際、多くの方々から祝福のお言葉や激励のお言葉をいただきました。実は、平成十一年から七年間、教諭として勤務させていただき諸先輩方の御指導を受けながら、進路指導や生徒指導、部活動の指導などに懸命に取り組み、とても濃密な時間を過ごさせていただいた思い出深い高校です。その高校に再び勤務させていただくことに、喜びと幸せを感じているところです。当時と比べ、校舎も新しくなり、また、現二年生からは制服も一新され、少し雰囲気も変わつたところもあります。が、自らの目標に向かって前向きに何事にも取り組もうとする川高生の姿は変わりません。創立百二十七年を迎える歴史と伝統に思いを馳せると、また、その歴史と伝統が脈々と受け継がれて

ていることを思うと、身の引き締まる思いがすると同時に、「こんな私に校長が務まるのか、という不安や重責も感じます。微力ながら、川内高校の生徒のために教職員一同尽力して参ります。

さて、令和五年度卒業生は、学業面、運動面ともに素晴らしい実績を残してくれました。充実した三年を終え、それぞれの進路へと旅立ち、新たな人生のステージを歩み始めています。また、春の日差しに恵まれた四月九日、第七十九回入学式を挙行いたしました。下妻同窓会長はじめ、同窓会の方々や多くの保護者が見守る中、二百八十名の新入生を迎えることができました。式では、「自分の命を大切に、自分の存在や価値観を尊重するとともに、他人の命を大切に、他人の存在や価値観を尊重する姿勢を持ち続けてほしい。多様な価値観をもった多様な人たちと協働して新しい価値観を創り出す姿勢をもつてほしい。」という話をしました。川内高校の校歌の各番の最後にある「もろともに真理を究む もろともに理想を目指す もろともに努力を誓う」という歌詞を引き合いに、三年後、もろともに、仲間と一緒に、立派な川内高校生として新たな旅立

ちを迎えることができるようにしてほしいというメッセージも送りました（ちなみに、当日の校歌紹介は吹奏楽部の演奏に合わせて野球部が歌ってくれました。大変好評でした）。

新入生に限らず、川内高校生がそれぞれの夢や希望をもつて「なりたい自分」になるために日々精進し、川内高校生として、人として、確かな成長を遂げる二年であつてほしいと願うことです。今私たちが生きている社会は、変わりやすく、不確実で、複雑で、曖昧な社会、いわゆるVUCAの時代と言われていると思います。何が正解で何が正しいのかわからないような課題が私たちのまわりには山積しています。このような課題に対して最適解を見つけ出していくには、自分一人の力や価値観だけに頼るのではなく、多様な人々との関わりを通して新しい価値観を創造したり、異なる価値観を認め合うことが不可欠です。生徒たちには、このような社会をたくましく、したたかに生き抜いていくてほしいと強く願っています。

結びに、本校の良き伝統と校風を引き継ぎながら、生徒・職員とともに新たな歴史を紡いでいくこと、グローバルな視点で物事を考え、地域で活躍する人材育成を目指した教育活動に全力を尽くすことを誓いますとともに、可愛山同窓会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝を祈念申し上げ、赴任にあつたての挨拶といたします。

川高ホームページ・ブログのご案内

進路状況・各地同窓会の案内等々「川内高校がひと目で分かる」ようになっています。担当の先生が張り切って随時更新しています。川内高校の現状、生徒達の頑張りを身近なものに感じて、後輩達にエールを送ってくださいませんか。

■川内高校ホームページ

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Sendai/>

■川内高校ブログ「川高ブログ」

<http://sendai-high.seesaa.net/>

■可愛山同窓会ホームページ

<https://enoyama.jp>

川内高校

検索

川内高校と入力してね！



Facebook



X (旧Twitter)



Instagram



Threads



YouTube

創立記念日講演会 令和6年4月18日 演題「能力は未来進行形」

京セラ株式会社 取締役 執行役員常務

触 浩

(川高31期)



(ネフローゼ症候群)を発病し、自宅療養3か月、大病院に3か月入院しても治癒せず、休学が6ヶ月を超え留年。長期療養が必要となり養護学校が付属する指宿の国立病院で2回目の中学1生から卒業までの3年間療養生活を送りました。

良く遊び相手をしていた隣のベッドの5歳の男の子。我儘が煩わしくなりつれなくしたこともありましたが、病気が悪化し亡くなりました。もつと優しくすればよかったと、もつと遊んであげればよかったと、もう出来なくなると思つたとき後悔の念が私の心に刻まれました。

私、川内高校31期(1979年卒)で鹿児島大学工学部を経て、京セラ株式会社に入社しました。これまでに関わった製品は、自動車の性能向上や排気ガス低減に貢献している製品、最先端の半導体の進化に貢献する半導体製造装置用製品など、社会の進歩発展に貢献しています。

多くの困難や苦労もありましたが、家族にも支えられ、仲間とも助け合い、信頼や感謝の気持ちや社会への貢献を実感し、仕事に誇りをもち働くこと生きること、に幸福を感じています。ごくごく普通の私が、想像もしなかった仕事でできたのは、様々な経験を通じて考え方や姿勢を学ぶことができたからだと考えており、その経験をお話したいと思います。

闘病生活

中学1年生の10月に腎臓病

川内高校から鹿大学時代

院生活でしたが、心の支えは同じ境遇の仲間の存在、看護師さんお医者さんのサポート、そして兄がバイト代で買ってくれるマンガや、親が無理をして買ってくれた少し高級なラジカセとそれで聞く音楽、それは少しでも楽しいことをさせてあげたいという家族の愛情でした。

兄からは、体のことを考えて大学を目指せと言われ、自分もモノづくりが好きでエンジニア志望ということで川内高校を選び、退院後、同級生から1年遅れて進学。過激な運動は禁止、薬も微量継続、不安は感じつつも、徐々に慣れ始め、入院生活の反動で遊び呆けました。親友と行った甑島キャンプ、3年の運動会は全員女装、クラスマッチで優勝し大騒ぎして渡り廊下を水浸しにして先生に怒られたり、気のいい友達や厳しくても素敵な先生方にも恵まれ、とても楽しい川高生活を送りました。なんとか鹿児島大学工学部化学工学科に入学したものの、怠けてまたも留年を経験。でもここでも良い友達に恵まれて、勉強よりも人生論で語り明かしたり、鹿大祭では神輿パレードリーダーをするなど、青春を謳歌していました。

そんな中にも、時々届く病院仲間の訃報に生きる意味って何だろう？と考えるようになりました。

京セラ入社以降

国分工場の自動車部品事業部を希望しましたが、配属先は滋賀県蒲生工場のCER-DIP事業部。配属初日の朝礼で責任者から「今度入った新入社員だ、こいつらのお陰で利益が下がる」と言われ愕然としました。その後すぐに2週間の現場実習が始まりました。

返し工程と呼ばれる製品のケース詰め作業、18歳〜24歳の女性達が8時間立ちっぱなしで行うとてもしんどい作業でした。私は遅い上にこぼしたり落したり、そのたびに女性たちが嫌な顔一つせずに助けてくれました。情けないやら恥ずかしいやら…。その時ふと考えたのです。私の給料は手取り10万円、現場で働く女性の手取り5万円くらい。何もできない私、このしんどい作業を毎日やっていっている女性達、どっちが役に立っているのか？初日の朝礼の厳しい言葉の意味が分かりました。

一生懸命に頑張つて成果を出して、この女性たち仲間たちを少しでも楽にする、幸福にすることが自分の働く意味、存在する価値だと気づきました。それから、とにかく一生懸命に努力しました、厳しい局面や困難な状況もありましたが、逃げずに諦めずに真正面から問題に立ち向かいました。すると不思議と誰かが助けてくれました。仲間への感謝の気持ちや信頼関係も生まれ、更に助け合い良い成果

振り返ると、

病気をして生きることの幸福を学び、身近に死を感じて今を一生懸命生きることの大切さに気付く、困難から逃げずに一生懸命努力することで、周囲の助けをもらい助け合うこと感謝することの大切さを学び、それが思いもしない成果に繋がって周囲も幸福になります。自身の成長や幸福を実感しています。

大切だと思うこと

「自分の未来に夢や希望を描いてください」思い描いて、努力すれば必ず実現します。「具体的な目標を持つてくださ





50年目の青春

1974年卒業アルバムより抜粋



第76回 卒業式

第76回卒業式に参加して

川内高校26期生 渡邊 泰久

もう卒業50年たったのか、もう人生も50年以上生きてきたのかという思いを持ちながら私たち川高26期は母校川内高校第76回卒業式に招待されました。

コロナ禍明けで行われる卒業式で昨年までの人数制限も解除され、卒業生248名、及び在校生全員、父兄、来賓そして卒業50年の26期が40名参列して体育館一杯に一同が会している感じで厳かに開催されました。

川高26期の参列者は、関東から11名、関西から2名、地元27名の40名が同窓会館に集合して緊張感もありながら体育館に入場し、参列させて頂きました。関東からのメンバーは、自分の時の卒業式に入試や他の事情で出ていない人がほとんどでこの時が自分も本当の卒業式を迎えた気持ちになっていったと思います。吹奏楽部による厳かな演奏から生徒入場が始まり、7クラスの各クラス毎に名前を呼ばれて起立し、代表が卒業証書を受け取る流れを粛々と眺めながら感慨深く見守りました。

荒田校長の式辞では、卒業生に向けて「市のため、苦しんでいる人、市のために何ができるのかを自分」に問うべきとの話で私たち26期もあらためて自分たちは何ができるのかを考えさせられた思いでした。

今回の卒業生達は、コロナ禍で入学し、2年生までは自粛生活で3年生になりやっとコロナ禍明けでいろいろな活動がゆるさされ、クラブ活動、体育祭や文化祭、私達の頃は中止になっていた修学旅行も全て出来たとコロナ前までは当たり前になっていたのが印象的でした。

久々の校歌斉唱を皆で声を出し、卒業生退場前に記念品贈呈があり、我々26期からの川高奨学会への寄付金を今吉君から荒田校長へ贈呈できたのも嬉しかったです。

26期40名は、その後、校門前で集合写真を撮影、同窓会館和室での茶道部のもてなしを受けたり、久々の帰省で市内観光に出かけたりと懇親会までの時間を過ごしました。

夕方からは、オートリ荘で50名の同期で懇親会から2次会と盛り上がりしました。私も東京から参加の一人でしたが卒業50年というタイミングで招待されて卒業式に参列出来たことが大学入試のタイミングで卒業式に出ていなかった自分分としてはやっと高校の卒業式を迎えた感があり、良かったと思っています。

最後にお世話頂いた母校や同窓会の係の方々、幹事の皆さんに26期を代表し深く感謝すると共に母校の発展を祈念致します。

第76回卒業式に参列して

川内高校26期生 今吉 俊郎

私たち26期生は、卒業50周年の節目の年に、第76回卒業式に参列させて頂きました。

76期生の皆さん、ご卒業おめでとうございました。

昭和49年の春、11クラス495人の私たち26期生は、川内高校を卒業しました。

50年前を振り返ると、私たちは、第一次オイルショックの年に卒業、進学・就職し、その5年後の大学を卒業した年が第二次オイルショックの年でした。

私たちが3年生の秋、昭和48年10月に第4次中東戦争が勃発し、OPECが原油の供給制限と輸出価格の70%という大幅な引き上げを行い、国際原油価格は3カ月で約4倍に高騰しました。

これにより、石油消費国である先進国を中心に世界経済は大混乱に陥りました。日本経済への影響も多岐に渡り、商品買い占めなどの社会現象が起きました。

当時の中曽根康弘通商産業大臣が紙の節約を呼びかけると、国民の間では「紙の節約」紙が無くなるというデマが広まり、そのため、トイレットペーパーが日本中で売れなくなり、店頭からトイレットペーパーが消えました。

まるで、4年前の新型コロナウィルス感染症が流行し始めたところ、マスクが買えなくなった事態とそっくりです。

これによって発生した激しいインフレを抑えようと、日銀は公定歩合を9%まで引き上げたほどでした。

当時は就職難でしたが、今は人手不足の時代、いずれにしても厳しい経済情勢のさなかの旅立ち、今年の卒業生と共通するものがあると感じます。

一方、高校時代の思い出と言えば、ラジオの深夜放送を聞きながら受験勉強をしました。天地真理、小柳ルミ子、南沙織の三人娘や、郷ひろみ、西城秀樹、野口五郎の新御三家が全盛のときで、フォークソングもブームだった時代です。洋楽でもサイモンとガーファンクルやカーペンターズその他、深夜放送のおかげでたくさん思い出の曲を持っている私たちです。

スマホがない時代で、アナログな時代を過ごした私たちでした。

また、部活では、バスケットボール部が伝統的に強く、その他バドミントン部もインターハイ出場など活躍しました。中でも水球部は、かごしま太陽国体の後もしばらく全国王者の時代が続く、ハワイ遠征や欧州遠征に派遣されていました。

今回の第76回卒業式に参列して、76期生の凛々しい姿に50年前の自分たちを重ね合わせながら、あの頃を懐かしく思い起こす機会をいただいたことに感謝する次第です。ありがとうございました。

次回ご案内 第77回卒業式(令和7年3月3日)は高27期(S 50卒)・高52期(H 12卒)をご招待予定です。

進路指導部だより

進路指導主任 山口 潤一郎

三月一日、第七十六期生が、保護者、在校生、職員そして同窓会五十一期・二十六期の先輩方に見送られながら川内高校を巣立って行きました。入学してしばらくの間はコロナ禍でいろいろな制限がありました。三年生になるとそれが緩和され、学校行事も以前のように実施でき、一年間ですが、通常の高校生活の中で思い出をつくることができました。体育祭では、一年次から負けなしの「三連覇」という快挙も成し遂げました。

さて、今年度の受験は、共通テストも四年目となり、以前のセンター試験よりも難しくはなっていますが、出題意図が浸透し、平均点も安定、大きな混乱はありませんでした。そのような状況下で生徒たちは落ち着いて受験に望んでいました。各大学個別（二次）試験対策は、五教科の特別対策授業に加え、最近重要視されている小論文や面接、グループ討議の指導も、授業の合間や放課後を使って行いました。入試本番直前は、放課後だけでなく休日も学校で指導を受ける生徒の姿がありました。それらの努力を経て、鹿児島大をはじめ、九州大、九州工業大など一一一名が国立大に合格（過年度卒を含む）しました。なかでも、九年ぶりの京都大現役合格は、特筆すべきものでした。専門学校は、今年度も医療系が多く、就職は、鹿児島県警、市消防局、京セラ株式会社などに合格しました。

コロナ禍は明けましたが、日常においての後遺症（負の影響）や、それまで当然と思われていた行いへの再考察のきっかけ（正の影響）を残しました。また、在学中に、朝課外が廃止されたり服装頭髮に関する本校基準が見直されたりといった大きな変化もありました。これらの希有で貴重な経験を活かし、文武両道、叡智を磨くわが母校」の精神のもと、自らの能力を発揮し、新しい社会をつくっていくものと信じています。

鹿児島県立川内高等学校

準 大 学 校	現	過	計
防 衛 医 科		1	1
九 州 職 能	1		1
準 大 学 校 計	1	1	2

準 短 大 校	現	過	計
川 内 職 能	5		5
準 短 大 校 計	5	0	5

専 修 ・ 各 種 学 校 等	現
古 賀 国 際 看 護 学 院	1
福 岡 市 医 師 会 看 護 専 門 学 校	1
熊 本 労 災 看 護 専 門 学 校	1
川 内 看 護 専 門 学 校	1
神 村 学 園 専 修 学 校	2
赤 塚 学 園 看 護 専 門 学 校	1
茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	1
九州医療スポーツ専門学校	1
鹿児島医療技術専門学校	6
鹿児島医療福祉専門学校	1
今村ライセンシアアカデミー	1
鹿児島県立農業大学校	1
鹿児島県立吹上高等技術専門学校	1
鹿児島情報ビジネス公務員専門学校	1
KCS鹿児島情報専門学校	1
鹿児島県理容美容専門学校	1
福岡ビューティーアート専門学校	1
福岡ウェディングブライダル専門学校	1
西日本アカデミー航空専門学校	1
文化服装学院	1
ESP学園専門学校 ESPエンタテインメント福岡	1
専 修 ・ 各 種 学 校 等 計	27

就 職 等	現
国 税 局	1
自 衛 隊	1
鹿 児 島 県 警 察	1
鹿 児 島 市 消 防 局	1
薩 摩 川 内 市 消 防 局	1
京 セ ラ 株 式 会 社	1
甲 冑 工 房 丸 武 産 業	1
旅 行 人 山 荘	1
社会医療法人 名古屋記念財団 新生会第一病院	1
就 職 等 計	9

卒業生進路別合格状況

私 立 大 学	現	過	計
国際医療福祉	2		2
千葉工業	1		1
千葉商科	1		1
桜 美 林	1		1
上 智	1		1
帝 京	3		3
東 海	3	1	4
東 洋	2		2
日 本	1		1
新潟医療福祉	1		1
同 志 社	1		1
立 命 館	1		1
大 阪 経 済	2		2
大 阪 芸 術	1		1
大 阪 成	1		1
近 畿	1	1	2
奈 良	1		1
環 太 平 洋	1		1
九州国立	3		3
九州国際	2		2
九州産業	10	1	11
九州女子	1		1
久 留 米	7	1	8
久留米工業	3	2	5
西南学院	3		3
中 村 学 園	1		1
福 岡	23	9	32
福 岡 工 業	4		4
九州栄養福祉	1		1
純 真 学 園	3		3
西 日 本 工 業	1		1
福岡国際医療福祉	2		2
令和健康科学	1		1
西 九 州	2		2
長 崎 国 際	1		1
長 崎 外 国 語	1		1
長崎総合科学	3		3
熊 本 学 園	1		1
崇 城	13		13
熊本保健科学	3		3
日 本 文 理	1		1
鹿児島国際	39	1	40
鹿児島純心	34		34
志 學 館	3		3
第 一 工 科	6		6
私立大学計	192	20	212

国 公 立 短 大	現	過	計
鹿児島県立	17		17
国公立短大計	17	0	17

私 立 短 大	現	過	計
中日本自動車	1		1
九州大谷	1		1
香 蘭 女 子	1		1
福岡こども	1		1
鹿児島純心女子	8		8
鹿児島女子	17		17
私立短大計	29	0	29

公 立 大 学	現	過	計
秋田公立美術	1		1
公立小松	1		1
都 留 文 科	1		1
神戸市外国語	1		1
公立鳥取環境	1		1
周 南 公 立	3		3
下 関 市 立	4		4
北 九 州 市 立	6		6
九州歯科	1		1
福岡県立	1		1
福岡女子	1		1
長 崎 県 立	5	1	6
熊本県立	1		1
宮崎県立看護	2		2
宮 崎 公 立	1		1
名 桜	1		1
公立大学計	30	2	32
国公立大計	105	6	111

ハッテッ 可愛山同窓会

各地区の同窓会の取り組みを取材形式でお知らせします。

東京可愛山同窓会

東京可愛山同窓会は6月1日（土）に東京プリンスホテルで第55回総会・懇親会を開催いたします。昨年、開催予定を告知しながら諸般の事情で開催出来なかったので5年ぶり開催に向けて役員一同で準備している状況です。今年

追憶 高15期 林 川内高校同級生の皆さん、今日は！「阿久根ガラッパ会と熊本可愛山会」に夫婦ともども在籍している不肖の投稿にご容赦の程お願い致します。

阿久根ガラッパ会

思い起こしますと、平成時代中頃までのガラッパ会（20数名）では、我が一族に母校の出身者が多く身内会的な会合でもありました。一方、風格ある歴史が息づく校舎の面影もスッカリ変容する中で入学時（昭和35年）には、父（旧・川中卒）にとつても大正末期当時の通学経路だった阿久根く川内まで当時を偲びながらの親子ウォーキングや、川高100周年記念事業（平成9年10月31日）では、今年（令和6年3月29日）亡くなった（元）NHK出身の鈴木健二氏（当時、熊本県立劇場館長）への講演依頼に（故）新屋会長・中尾事務局長らと直談判してから四半世紀経った今では、OBとして母校に少しでも貢献出来て誇らしい限りです。

また当時、学区外申請で入学した母校に阿久根・出水も学区内区域として編入されており有り難いことである。最後に、加速する文明の波

関西可愛山同窓会

昨年の同窓会は396名の会員に案内状を出すにあたり、新しい試みとして46名にEメールで案内状を送信して経費削減を図りました。Eメールで案内することには、もう一つの利点があり、参加不参加の返信がない方に再送信して参加を促すことができることです。ただ迷惑メールに振り分けられていたら何の意味がありません。とにかく今年は101名の会員にメールで案内する予定です。その点往復ハガキは住所さえ間違えてなかったら確実に相手に届きます。また、手に取って見ても交錯して参加の二歩を踏み出して貰えるかもしれません。これまで参加されたことがない方にも毎年案内状を出し続けたことで、昨年は8名の新しい参加者がありました。そう考えると今後は住所が変わつていても本人に届くと云うメール案内の利点を生かしながら、往復はがきを出し続けて新しい会員を増やしていくことが重要になります。

福岡可愛山同窓会

昨年の同窓会は7月3日に下麦会長、荒田校長先生はじめ、来賓の方々のご参加の下に開催しました。恒例の「文武両道取組日本一奨励金」は「ソフトテニス部」と「文芸部」に贈呈いたしました。懇親会は旧制中学出身で唯一、出席された下大迫先輩の御年94歳とは思えない声高らかに川中校歌の熱唱に始まり盛大に開催することができました。当日は最年長の下大迫先輩から最年少の大学生まで年齢差75歳と幅広い世代の参加があり、まさに卒業生が一同に集う同窓会の趣旨に沿った会になりました。又、毎度の2次会は川内から来賓の方々も加わって頂き、一段と盛り上がりました。福岡可愛山同窓会とはつくに古希を過ぎられても2次会、3次会に顔を出されるお達者な先輩方と酒が入るにつれて先輩を先輩方とも思わない口の達者な若手が融合した楽しい会です。7月第一日曜日に開催しています。機会があれば、ご参加ください。

熊本可愛山同窓会

幹事 宮田 和正 熊本可愛山同窓会は、令和5年総会を11月26日（日曜日）に「鼎泰豊」にて、開催致しました。本会へは同窓会本部より、下麦同窓



今後の活動については、HPで最新情報をご案内してまいります。
https://enoyama.jp/index.php/tokyo

代表幹事 影山 裕樹 今回は素晴らしいお知らせがあ

鹿児島可愛山同窓会

会長 後藤 孝行（高20期）
鹿児島可愛山同窓会は、鹿児島市近郊の同窓生を中心に、旧交を温めています。
二年ごとに総会・懇親会を実施してきましたが、近年は、平成三十年を最後に開催を見送っていました。このような中、令和になり初めての総会を昨年十一月四日に、新たな会場となる山形屋で開催しました。
久しぶりの開催で、皆様の方々に参加いただけたか不安の中での準備となりましたが、母校から校長先生はじめ本部役員の方々、そして当会会員の総勢七十五名の方々に参加いただきました。

会では、テレビでおなじみの亀田気象予報士の御講演、総会の後の懇親会では、参加者から多くの御寄贈をいただき、お楽しみ抽選会で大いに盛り上がり、楽しいひととき、旧交を温めることが出来ました。
今回は、令和七年十一月八日（土）の開催を予定しています。多くの皆様方との再会を楽しみにしております。

本部可愛山同窓会

去る8月5日（土）SSプラザさんだいに於いて、令和5年度の可愛山同窓会本部総会が行われました。
4年ぶりに制限のない総会とな

り、約200名の会員の皆様にご出席いただき、議案審議も滞りなく終了いたしました。
今回は県内外の支部からもご出席いただき久しぶりに賑やかな会となりました。また、令和3年に完成した川内駅隣接のSSプラザさんだいでのご会食を、提供した大きなイベントは初の試みで、無事に開催できました。これは実行委員会のご尽力、各期幹事のご協力、また広告にご協力いただいた皆様、なにより、ご出席いただき会を盛り上げていただいた会員皆様のお陰と感謝申し上げます。
この2月には、本部役員に新しく桑原宏志副会長をお迎えし、さらにパワーアップいたしました。なお、今年度総会は、8月3日（土）に開催の予定です。会員の皆様の多数のご出席をお待ちしております。



文武両道
英知を磨く
頑張る部活

女子ソフトテニス部

私たち女子ソフトテニス部は、3年生2名、2年生4名、計6名で活動しています。
私たちは、県ベスト8を目標に日々練習に励んでいます。練習場所は学校のコートと総合運動公園のコートに交互に使っています。川内高校は大学の進学率も高く勉学にも力を入れているため、平日の練習時間を長くすることができません。しかし、今年度からは授業時間が50分から45分の7限授業に変わつたため今までもより長い時間部活動に取り組むことが出来ます。文武両道を掲げているため、少しでも空いた時間を有効に活用し、強度の高い練習を行っています。私たちの最後の大会まで残り2ヶ月を切りました。それまでにストローク力を上げ、安定したボールを打てるように、毎日基本打ちから試合の流れを考えた展開練習まで様々な練習に取り組んでいます。また、前衛練習ではただボールを打つだけでなく、相手の前衛と後衛の間に返すということを常に頭に入れ、練習しています。
これまで私たちがよりよい環境で充実した練習ができるのは、普段熱心に指導してくださる先生方、試合の度に全力で応援してくださる保護者や地域の方々、そしてサポートし続けてくださる



漕艇部

漕艇部は、「どんな時でも応援されるチーム」をスローガンに、3年生9人、2年生10人、1年生10人の計29名で活動しています。平日は主に学校で陸上トレーニングを行い、土日を中心に川内川での水上トレーニングを行っています。ローイング競技は、1000mの直線コースをどれだけ速く駆け抜けるかを競う競技であるため日々の練習では「正確に継続して動き続ける」力を重点的に高めています。中学時代までに体験したことがないローイングの魅力に惹きつけられた部員たちは努力を積み重ね、令和5年度は、九州地区の大会で結果を残すと共に、全国高校総合体育大会や全国選抜ローイング大会にも出場、燃ゆる感動がごしま国体ローイング競技では、

女子バレー部

私たち川内高校女子バレー部は、3年生10名、2年生6名、そして4月に入部した1年生と全員一丸となり県大会ベスト8、地区大会優勝を目指して日々練習に励んでいます。学習との両立を図り、月に2回程度の練習試合と合宿や公式戦をこなしています。
令和5年度の県新人大会は、先



現役部員5名、OB・OG選手4名が県選抜選手として活躍しました。自然を相手にするスポーツであるため、時には悪天候で思うとおりの練習ができないこともありますが、「そのような中でも、主体的に考え、『今できること』」に着実に取り組んでいます。
練習や遠征が多くなるのの支えによって成り立っていることへの感謝を忘れず、これからも文武共に頑張っていきたいので、応援をよろしく願っています。

輩方の成績を超えることはできませんでしたが、日々の練習を見つめなおし取り組んできました。
3年生にとつて最後の大会も後少しで終わります。私たちが毎日、不自由なく練習できているのは日頃から支えてくださっている保護者、これまで伝統をつないでくださってきたOGの皆様のおかげです。これからも感謝の気持ちを忘れずに、チーム一丸となって頑張っていくので今後とも応援よろしく願います。



剣道部

川内高校剣道部は、顧問西先生、副顧問前野先生のご指導のもと、2年生1名、1年生2名、計3名で日々稽古に励んでいます。
剣道は、稽古を積み重ねることによって、「体力」「精神力」「忍耐力」が身につくことができ、さらに「礼儀正しさ」を養うことができます。また技術面だけでなく、「人間的」

にも成長できることです。人間的に成長するには、継続的に頑張る続けることが大切なことだと思っています。
近年、剣道部員数が少なく、団体戦を組むことが難しいのですが、先輩・後輩との仲が良く、何でも言い合えることができています。私たちは、「九州大会出場」を目標にして頑張っています。そのため稽古や試合で苦しいとき、つらいときが多々あります。しかし、こういうときこそ「笑顔」と励ましあい、みんなで切磋琢磨しながら頑張っています。
普段ご指導してくださる先生方やお世話になっている先輩方、いつも応援してくださる保護者の皆様、そして共に向上し合う仲間へ感謝の気持ちを忘れず、目標に向かってこれからも精進していきたいと思います。今後とも応援よろしく願います。



美術部

私たち美術部は、五階校舎最上階にある美術室で2年生2名、1



年生6名で活動しています。活動時間は平日のみで、兼部も気軽にできます。部の雰囲気としては、個性溢れる部員たちが多く、常に明るく楽しい雰囲気です。美術部は毎年、学校行事での看板制作や、美術展に向けての作品制作などをしています。また、部員によつては学校行事のテーマイラストを手掛けることもあります。作品制作をするにあたって、部員それぞれの創作作品を見ることができると、視野を広げることができるといいます。部員の仲も良いので、楽しみながら活動できるといいます。美術部の長所です。
美術部は毎年さまざまな美術展に作品を出展しているため、現在は受賞できるように一生懸命作品制作に取り組まっています。美術部の目標は、部員全員が楽しみながら作品制作をすることです。そして、美術展で受賞できるようにさらに自分の技術を上達させていくことです。今後より自分らしい作品作りができるよう全力で取り組み、精進していきたいと思います。応援よろしく願います。

化学部



私たち化学部は、3年生4名、2年生6名の計10名で活動しています。主に週2回火曜日と、木曜日に化学実験室で行っています。先輩方から教わった化学の楽しさ、失敗を恐れない心を胸に日々活動に取り組んでいます。化学部では昨年度から、生徒理科研究発表大会に向け研究テーマを決め、実験を行い、結果に基づいて考察を深めるなどして、探究活動を行ってきました。今年も研究発表大会に向け2年生主体で研究に取り組んでいます。また、部員みんなで力を合わせ全国高等学校総合文化祭出場も目指しています。
日々の実験では、ただ活動に取り組みだけでなく実験を通して、なぜこのような結果となるのか、何が要因となつて反応が起こったのかなど、様々なことに意識を向け、疑問を解決する手立てを考え、自分たちなりの結論づけを行っています。仮説と異なる結果になったり、とても面白く奥深い化学に



日々驚かされながら活動に取り組む、有意義な時間を過ごしています。今後自分たちの気になることを追究して、多くのことを学んでいきたいと思っています。応援よろしく願います！

第31回 OBゴルフ大会

恒例のOBゴルフ大会が令和6年4月29日(昭和の日)に市比野グリーンヒルカントリークラブで開催されました。
天気も恒例?!の雨となり、時折の激しい雨の中のプレイとなりましたが、県内外から170名の参加で大いに盛り上がりしました。
団体戦・個人戦の結果は、次の通りです。

優勝 28期
山下耕一郎、福山幸二、林 廣昭 他8名
準優勝 24期 第3位 26期
第4位 23期 第5位 30期



優勝 慶田 安弘(23期)
準優勝 山下 耕一郎(28期) 第3位 出水 六男(24期)
第4位 内山 善之(26期) 第5位 徳留 敏行(18期)

ご寄付ありがとうございました。

川内高校奨学会への寄付一覧【自令和5年4月1日 至令和6年3月31日】

寄付者氏名	金額
鹿児島八起会(高8期)	30,000
高26期卒後50年寄付	1,000,000
合計	1,030,000

◆令和6年度奨学生

今年度の奨学生を5月16日開催の川内高校奨学会役員会で3年生7名、2年生6名決定しました。1年生は学内選考会を経て9月の役員会で決定し、奨学金の支給を行います。

◆令和5年度3月卒業奨学生の進路先

この春卒業した奨学生の進学先は、京都大学・九州大学・熊本大学2名・鹿児島大学・鹿児島県立短大

可愛山同窓会本部・各支部役員名簿

※は各支部連絡者 令和6年5月

可愛山同窓会本部		
会長	下 麥 昭 一	高30期
副会長	橋 口 知 章	高26期
〃	愛 川 清	高31期
〃	小田原 浩	高32期
〃	羽 田 美由紀	高33期
〃	桑 原 宏 志	高34期
〃	岸 上 久美子	高46期
監 事	坂ノ上 四 雄	高31期
〃	川 原 典 隆	高45期
書 記	森 園 健 太	高54期
会 計	鯉 坂 郁 代	川高事務室
顧 問	中 俣 知 大	高20期
相談役	山田島 稔	高17期
事務局長	鶴 永 ひとみ	高32期

TEL(FAX兼用)0996-20-2031
(火・木 10時～16時 在室)
E-mail: s-enoyama@sgr.bbq.jp

熊本可愛山同窓会		
会長	小井手 清 一	高17期
代表幹事	宮 田 和 正	高28期
会 計	鶴 殿 暁 子	高43期

※宮田 和正 (096-343-2389)

宮崎可愛山同窓会		
会長	浜 田 澄 鷹	高10期
副会長	川 野 融	高18期
事務局	村 田 誠	高24期

※浜田 澄鷹 (090-1513-5449)

東京可愛山同窓会		
会長	桐 原 保 法	高17期
副会長	徳 丸 律	高21期
〃	渡 邊 泰 久	高26期
〃	久留須 泰 朗	高30期
副幹事長	宇 都 正 信	高44期
〃	入 角 英 樹	高46期
〃	八 嶋 香 織	高46期
〃	吉 永 美 紀	高48期
〃	山 田 大 祐	高64期
会 計	福 山 伸 一	高24期
〃	植 村 健 二	高28期
監 査	山 下 重 孝	高22期
〃	東 郷 順 三	高24期

※渡邊 泰久 (090-7183-1768)

関西可愛山同窓会		
会長	山 口 健 一	高20期
副会長	柚 木 卓 郎	高20期
〃	有 馬 洋 一	高21期
幹事長	宮 野 覚 蔵	高24期
会 計	金 生 佐代子	高25期
監 事	畠 山 八重子	高22期
事務局	濱 道 吉 則	高25期
〃	瀬戸口 広 幸	高26期
〃	玉 利 敏 子	高26期
〃	柴 田 昌 江	高26期
〃	上 山 哲 郎	高28期
〃	知 識 文 彦	高33期
〃	森 下 聡 子	高36期
〃	釘 崎 幸 治	高44期

※宮野 覚蔵 (06-6433-3340)

福岡可愛山同窓会		
会長	牧 田 隆	高20期
副会長	井 上 哲	高20期
〃	寺 脇 之 博	高34期
代表幹事	影 山 裕 樹	高31期
副代表幹事	田 中 慎太郎	高40期
〃	羽子田 政 則	高41期
幹 事	紙 屋 まり子	高24期
〃	高 柳 健 一	高24期
〃	角 勤 子	高29期
〃	鈴 木 徳 之	高33期
〃	竹 田 大 作	高43期
〃	奥 大 一郎	高48期
〃	小 西 渚	高60期
監 事	園 林 龍 二	高17期
代表顧問	新 留 育 郎	高17期
顧 問	香 月 揚 子	高11期
〃	泰 平 尚 信	高13期
〃	西 谷 和 武	高14期
〃	上 西 治 志	高17期
〃	寺 地 明 子	高18期

※新留 育郎 (090-5472-4881)
※影山 裕樹 (090-9795-6896)

阿久根ガラッパ会		
会長	折 田 康 彦	高3期
世話役	林 勝次郎	高17期

※林 勝次郎 (0996-72-2075)

鹿児島可愛山同窓会		
会長	後 藤 孝 行	高20期
副会長	斎 藤 義 久	高19期
〃	堀之内 隆	高22期
〃	愛 甲 涼 子	高23期
〃	川 畑 洋 一	高27期
〃	道 岡 良 一	高29期
〃	新 門 和 洋	高33期
顧 問	上小鶴 貞 子	高女28期
〃	橋 本 幸 雄	高3期
〃	安 楽 満 男	高12期
〃	小 島 政 利	高14期
〃	石 走 一 行	高17期
事務局長	原 口 義 明	高35期

※平石 征志 (090-9561-6587)

県庁可愛山会		
会長	大 園 茂 生	高33期
副会長	原 口 義 明	高35期
〃	上 村 清 志	高33期
幹事長	鍋 田 慶 一郎	高36期
幹 事	平 石 征 志	高38期
〃	森 能 実	高40期
〃	古 屋 美 咲	高47期
〃(書記)	徳 重 朋 幸	高52期
〃	廣 瀬 泰 孝	高52期
〃	松 下 一 歩	高63期
会 計	福 重 由 香	高43期

※徳重 朋幸 (デジタル推進課 099-286-2366)

現在の同窓職員

令和6年4月1日現在

校務補助	西田 一彦	(高26期)
校務補助	上村 里美	(高28期)
事務主査	坂ノ上 四雄	(高31期)
寮 監	野沢 伸一郎	(高32期)
事務補助	手打 聖香	(高35期)
理 科	吉留 太郎	(高48期)
保健体育	森園 健太	(高54期)
公 民	丸目 脩成	(高70期)

編集後記

携わっていたいただいた皆様のご尽力で、無事会報59号をお届けすることができました。

令和5年度はほとんどの自粛が明け、あちこちで同期会開催のお話を耳にしました。どの会も久しぶりの再会で盛会だったことと思います。今年3月には、

川内大綱引きが国の重要無形文化財に指定され、また薩摩川内市は10月に誕生20周年を迎えます。色々な記念行事も行われる機会がさらに増えるのではないのでしょうか。母校へもぜひお立ち寄りください。

(火・木 同窓会事務局に在室)
鶴永 ひとみ(高32期)